

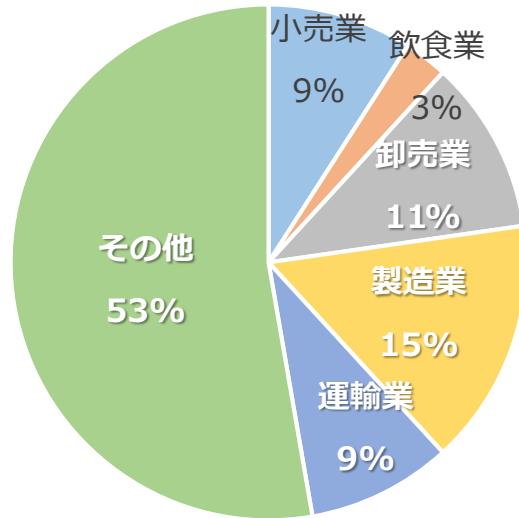
(3) 物流TDMのアンケートの実施結果

4. 物流TDMのアンケートの実施結果

- ▶ 期 間：2021年9月13日～10月7日
- ▶ 対 象：2020TDM推進プロジェクト登録企業、webセミナー受講企業、コンサルティング等実施企業等
※アンケートは中小企業、個人事業主や商店街等を対象
- ▶ 回答数：110社
※) 110社のうち、ご協力いただいた20社へ詳細ヒアリングを実施
※) 「未来につながる物流」認定団体については、別途個別アンケートを実施

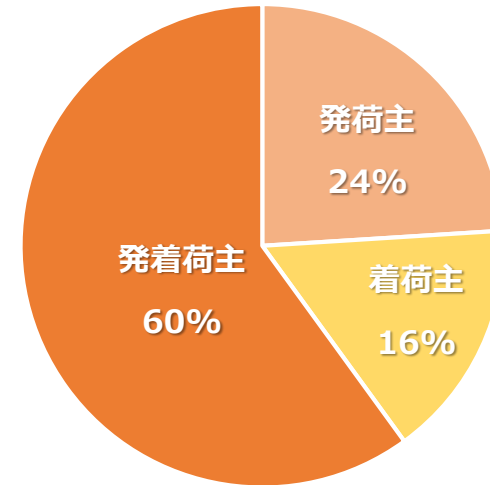
業種・事業について

業種



※その他 …情報通信業、建設業、
一般社団法人、コンサルタント業 等

荷主の立場

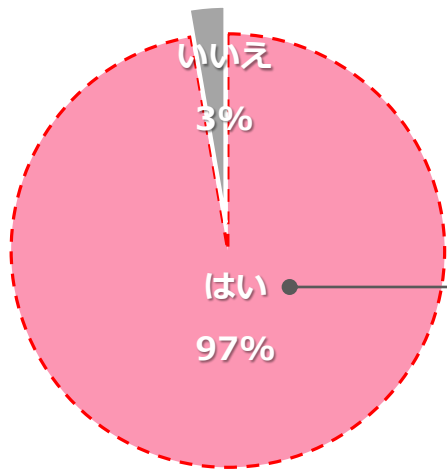


所在地

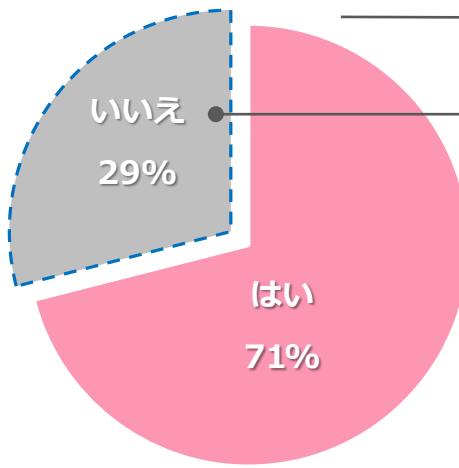
エリア	事務所	工場	小売店舗	医院、美容 院のサービ ス施設	物流施設 倉庫、集配 センター	その他	全体計
東京23区	79	7	16	5	16	7	130
東京23区外	8	3	0	0	1	1	13
埼玉県	1	0	0	0	9	1	11
千葉県	3	0	0	0	4	0	7
神奈川県	1	1	0	0	4	0	6
その他(国内)	8	2	0	0	7	2	19
その他(海外)	0	2	0	0	0	0	2

【大会前】事前対策について

Q1 東京2020大会開催にあたり、道路の交通混雑が予想され、モノが従来どおりに届かない可能性があることをご存知でしたか



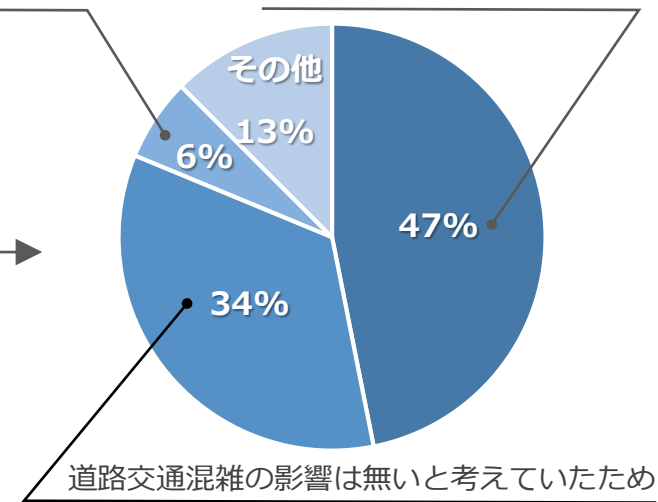
Q2 事前に物流に関する取組を計画・検討しましたか



Q3 Q2で「いいえ」と回答した理由を教えてください
(複数回答可)

仕入れや納品等は業者を通さず
自社で行っているため

納品日、到着日等を
自社のみで変更できないため



【大会前】検討した取組について

※複数回答可

運輸業以外

順位	取組	件数 (n)
1	納品・集荷時間をずらす	55
2	大会前後に納品日をずらす	51
3	時間指定をとりやめる	26
4	まとめ発注を実施する	25
5	事前に生産調整を実施する	24

運輸業

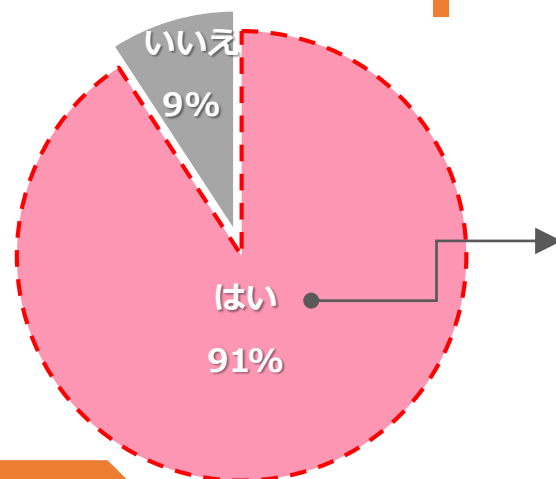
順位	取組	件数 (n)
1	輸送ルートを変更した	6
2	納品・集荷時間をずらすよう依頼した	5
2	大会前後に納品日をずらすよう依頼した	5
4	積載効率を向上させた	4
5	生産量を調整するよう依頼した	3

【大会期間中】取組の実施について

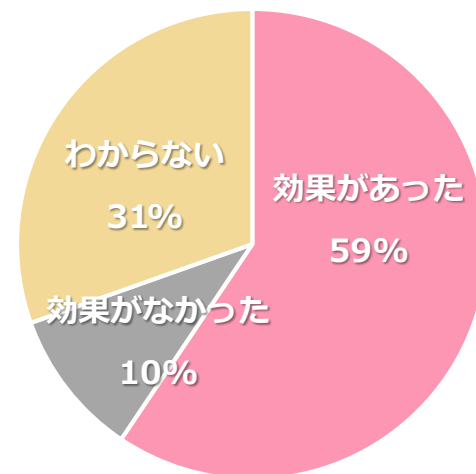
Q4 大会期間中、事前に計画していた取組を実施しましたか

➤ 「いいえ」の理由

- ・取組に関するイベントが中止となったため
- ・首都高が想定より混雑していなかったため
- ・無観客により混雑が起きないと予測したため



Q5 取組を実施したことによる効果はありましたか？



【大会期間中】具体的な効果について

※複数回答可

運輸業以外	
1	予定通りモノを送る・受け取ることでできた (n=27)
2	道路混雑の解消を実感できた (n=12)
3	コロナ対策にも有効であった (n=10)
4	他部署や他社との協力体制が構築できた (n=7)
4	業務効率化やLWB向上に寄与することができた (n=7)
4	商品や材料等の欠品を防ぐことができた (n=7)

運輸業	
1	道路混雑の解消を実感できた (n=5)
1	渋滞を避けることができた (n=5)
3	予定通りモノを届けることができた (n=3)
4	業務効率化やLWB向上に寄与することができた (n=2)

➤ 「効果がなかった」の理由

取組を実施したが予定通りにモノが届かなかった、予定通りに行動できなかった、事前テストで影響がないとわかった 等

【大会期間中】関係者調整について

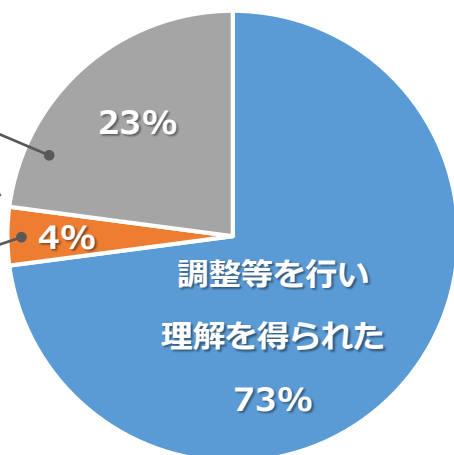
Q6 取組を行うにあたり、サプライチェーン間や他事業者等と相談、調整を行いましたか

調整等を行わず

自社だけで取組を実施

調整等を行ったが、理解を得られず

自社だけで取組を実施



➤ 調整したが、理解が得られなかった理由

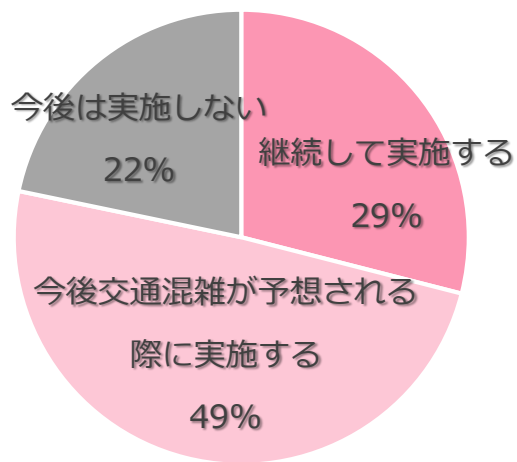
- ・ 納期が書面で取り決められ遅れが受け入れられなかった。
- ・ 相手先が元請であるため。
- ・ 荷主側にコストやリスクが生じるため、弱い立場にある運ぶ側から呼びかけても理解されない。

➤ 調整を行わず、自社だけで実施した理由

- ・ 自社だけで調整することができるため
- ・ 納品調整は競合他社との駆け引きになるので、自社取り組みになるため

【大会後】今後の物流対策について

Q7 大会期間中に実施した取組は今後も実施しますか



➤ 「継続して実施」の理由

- ・ 実施してみて特に不便ではなかったから
- ・ 2024年問題への対応ならびに物流効率化対策のため

➤ 「今後交通混雑が予想される場合に実施」の理由

- ・ 今回実施してみて、取組が有効であることがわかったため
- ・ 計画的な調整により、荷物が届くかどうかの不安が減るため
- ・ 災害時にも活用することが出来る

➤ 「実施しない」の理由

- ・ コストが増加してしまった。
- ・ 中小企業なので、在庫を抱えることが難しいため
- ・ 1台のトラックを昼と夜に併用が出来なくなる

Q1 今回行った物流対策についてどういった点が課題に感じたか

- ・ 交通規制等に関する**情報収集**が十分に行えなかった
- ・ 従業員の早朝及び夜間へのシフト変更で残業代等の**コスト**が生じた
- ・ 前倒し納品の場合は、**在庫の保管経費**が新たにかかるのでその負担の合意が課題
(商社の一部では、腹をくくって**費用負担**し、前倒し納品の在庫保管に応じてくれるところがあった)
- ・ **取引先の理解**を得ることが課題 (取引先も夜間に人員を配置しなくてはならないため)

Q2 物流対策を行う上で、行政にどのようなことを期待するか

- ・ 運輸業界の物流効率化は**待機時間の削減**が最重要。しかし、**荷主の立場が強いため**自社だけの解決は難しい
- ・ 「送料無料」や「翌日配送」のしわ寄せは物流事業者にくる。**適切な賃金**や**適切な就労**を守ってほしい
- ・ **CO2排出量を抑えた輸送**ができる取組 (電気輸送自動車の導入など) にも力を入れてほしい
- ・ 今後は、いわゆる**2024年問題** (トラックドライバーの時間外労働規制の適用) へ対応が必要。国全体での取組になると考えられるが、**リードタイムの緩和**について行政としても対応してほしい
- ・ 物流は様々な輸送が繋がっているため、**全国的に広報する仕組み**が必要。地方の農家や漁師にも情報を届けてほしい
- ・ 大会で得られた物流TDMの知見を、**これからのイベントや災害対応**に活かしてほしい

TDM推進プロジェクトや物流TDM協議会webセミナー等TDMや物流効率化に関心のある企業を対象にアンケート及び追加ヒアリングを実施

- ・ アンケート結果では、事前対策を検討し、大会時に取組を実施した企業が**約7割**
 - ・ 具体的には、**納品日時の前倒し、まとめ発注、発注量の調整、配送ルートの変更** 等
 - ・ 効果として、**予定どおりモノが届いた、道路混雑の解消を実感した、渋滞を避けることができた、他部署や他社と協力体制が構築できた** 等
 - ・ 物流効率化に向けた取組を**継続及び交通状況に応じて実施**と回答した企業は**約8割**
-
- ・ 物流効率化に向けた取組を**継続しない**と回答した企業は**約2割**
 - ・ 継続に向けた具体的な課題は以下のとおり
 - **取引先（荷主等）の理解が得るのが難しい**（在庫の保管経費、人員配置等）
 - 従業員の早朝及び夜間対応による残業等で**コストが生じた**
 - 納品日時等の変更は、**ドライバーや配車担当の負担が大きい**
 - 顧客へ説明するために**周知はもっとしてほしかった**。情報収集が難しかった。

➤ 大会を契機とした物流効率化に向けた取組は、一定程度効果があったものの、継続して実施するには課題がみられた